



スター・サージカル社と日本の新宿近視クリニックが戦略提携契約を発表

注)このリリースは、STAAR Surgical Company が現地時間 2018 年 8 月 14 日に発表したプレスリリースを日本の報道機関向けに翻訳したものです。英文プレスリリースは、[こちら](#)をご参照ください。なお、本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英文プレスリリースが優先します。

カリフォルニア州モンロビア(2018年8月14日)ー本日、眼内レンズ及び挿入システムの開発、製造、販売分野のリーディングカンパニーであるスター・サージカル社 (NASDAQ:STAA)と[新宿近視クリニック](#)(東京)の苅谷麻呂 医師は、屈折矯正手術によってメガネやコンタクトレンズからの解放を希望する患者のために、プライマリかつプレミアムの選択肢として同社の EVO Visian ICL™に関する戦略的提携契約の締結を発表しました。

新宿近視クリニックのゼネラルマネージャーである苅谷麻呂 医師は「当クリニックがスター・サージカル社の正式な戦略パートナーとなり、質の高い視力を希望されている患者様のため、プライマリかつプレミアムの選択肢として同社の ICL を提供できることを誇りに思います。当クリニックは既に複数の ICL 認定医を擁しており、患者様へすばらしい視界をお届けするという共通の目標を達成するために、スター・サージカル社とともに成長し、密接に協力していくことを楽しみにしています。」とコメントしています。

またスター・サージカル社の社長兼 CEO であるカレン・メイソンは「新宿近視クリニックは、日本において屈折矯正手術を行っている代表的施設の 1 つで、ここ数カ月にわたり ICL の使用が大幅に増え、当社の EVO Visian ICL 製品群への積極的な取り組みを見せてくださっています。このクリニックでは ICL を患者様(低度数の屈折異常眼を含む)に対するプライマリかつプレミアムの選択肢として位置付けて頂いています。ICL 手術を受けられた新宿近視クリニックのスタッフの方々は、みなさん良好な結果に大変満足されておられ、また ICL をクリニックのホームページで主要な矯正方法としてご紹介くださっています。新宿近視クリニックとの戦略提携契約は、当社による共同マーケティング支援や認定医及びスタッフのトレーニング等で同クリニックに成長をもたらし、両者の関係がより強固なものになっていくでしょう。」とコメントしました。

スター・サージカル社について

30年以上にわたり眼科手術領域で専門的な活動を行ってきたスター・サージカル社は、眼内レンズ及び挿入システムの設計、開発、製造、及び販売に従事しています。これらのレンズは、患者の視力を取り戻して、メガネやコンタクトレンズへの依存を減らすこと、または無くすことを目的としています。レンズは全て折り畳み可能であるため、術者はレンズを小切開から挿入できます。屈折矯正手術で使用されるスター・サージカル社のレンズは、Implantable Collamer[®] Lens または ICL と呼ばれています (EVO Visian ICL[™]を含む)。これまでに 800,000 眼以上の Visian ICL の手術が行われています。ICL の詳細に関しては、www.discovericl.com をご覧ください。スター・サージカル社は約 350 人の正規従業員を雇用し、75 カ国以上でレンズを販売しています。同社はカリフォルニア州モンロビアに本社を置き、カリフォルニア州アリソ・ビエホ及びモンロビアに製造施設を有しています。詳しくは同社のウェブサイト (www.staar.com) をご覧ください。

お問い合わせ先: **Investors & Media**
EVC Group
Brian Moore : 310-579-6199
Doug Sherk : 415-652-9100